

「道路」についての国際比較

京都大学
藤井 聡

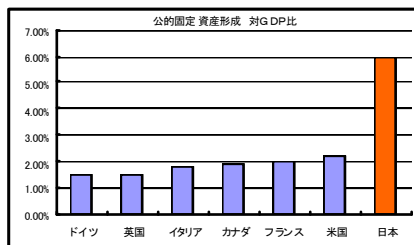
異質な国、日本？

- しばしば、日本の道路行政は、諸外国に比べて“異様”である、と言われてきた。
- そして、その“異様さ”を改善するために、様々な改革が必要だと言われてきた。
- しかし、日本の道路政策は、本当に異様なのか？

→それを、客観的に調べてみる。

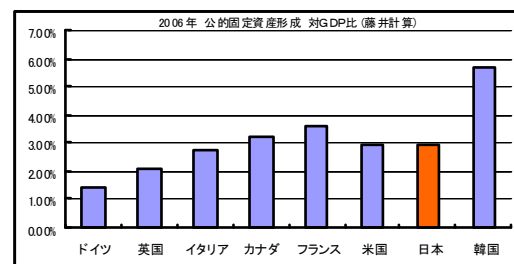
“日本異様論”は真実か？(1)

- 日本は、公共投資が異様に高いとしばしば言われている。例えば。。。?



外国はナショナルアカウンツ2007年版、日本は国民経済計算平成16年度から算出 (五十嵐・小川「道路をどうするか」岩波新書2008年、p109より)

。。。ということで
ナショナルアカウンツを調べてみたところ。。。?



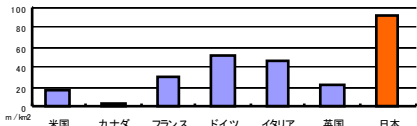
※ 全て、ナショナルアカウンツ2007年度版より作成

日本が“異様”とは、どうやら言えそうにない。

“日本異様論”は真実か？(2)

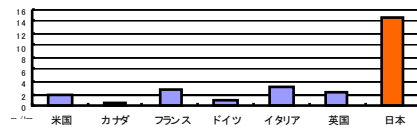
- 日本は、狭い国土に道路がありすぎる、もう道路なんて要らない、としばしば言われる。

可住面積あたり
高速道路延長
(m/km²)



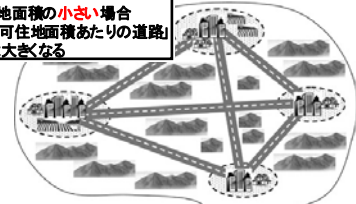
?

可住面積あたり
全道路延長
(m/km²)



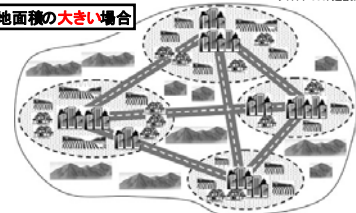
(五十嵐・小川「道路をどうするか」岩波新書2008年、p65の報告値をグラフ化)
(服部「道路整備事業の大罪」洋泉社2009年、のp17にも同趣旨の表あり)

可住地面積の小さい場合
→「可住地面積あたりの道路」
は大きくなる

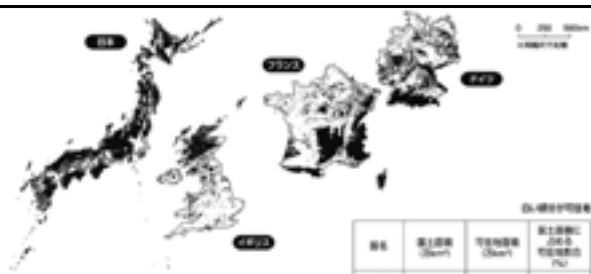


大石(2009)建設業界より

可住地面積の大きい場合



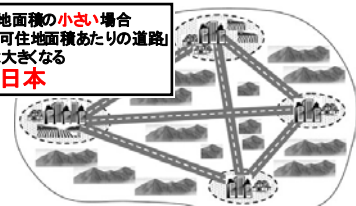
可住地面積で、
比較することは
ナンセンス。



大石(2009)建設業界より

日本の国土は、大半が山。可住地面積はそもそも少ない

可住地面積の小さい場合
→「可住地面積あたりの道路」
は大きくなる
→日本



大石(2009)建設業界より

可住地面積の大きい場合
→欧米諸国

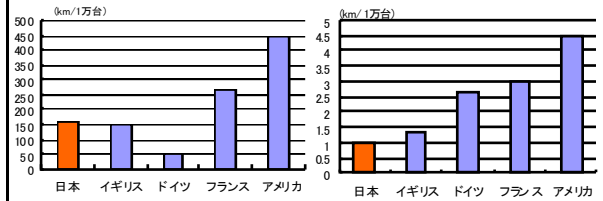


可住地面積で、
比較することは
ナンセンス。

では、日本の道路の整備水準は、
実際の所、
 先進諸国の中でどの程度なのか？

道路の“量”はどの程度か？

「利用者数(車両台数)あたりの道路延長」で比較すべきでは？

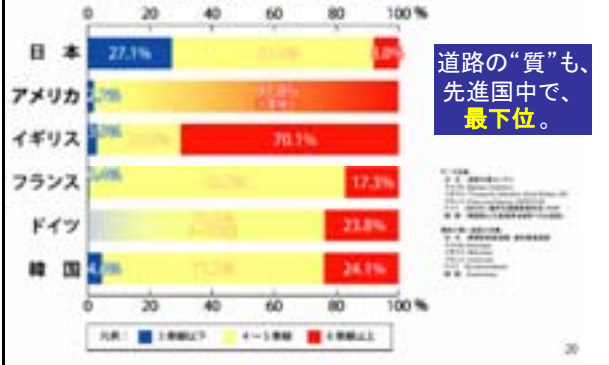


保有自動車1万台あたりの道路の長さ 保有自動車1万台あたりの高速道路の長さ

“異様”に道路が多い、訳ではない 高速道路は、先進国中**最下位**

道路の“質”はどの程度か？

規格の高い道路の車線数別延長の構成比

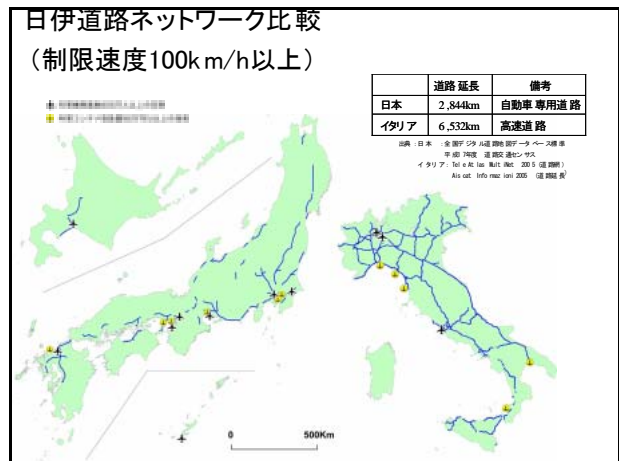
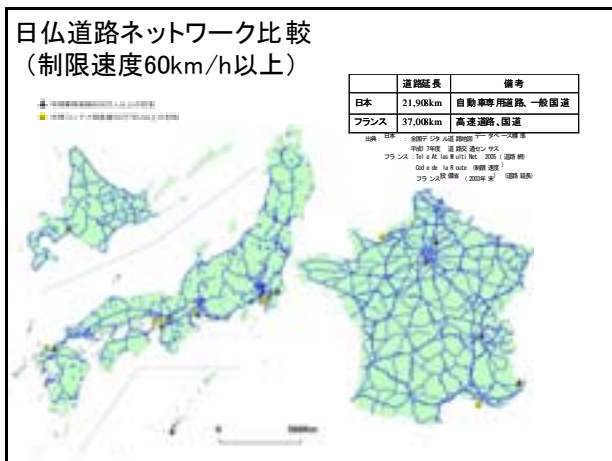
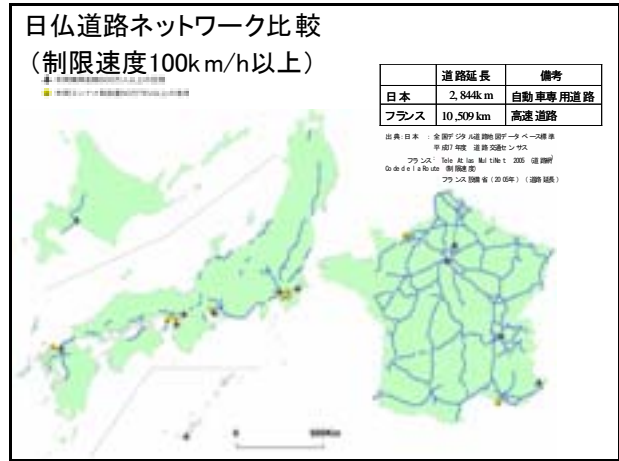
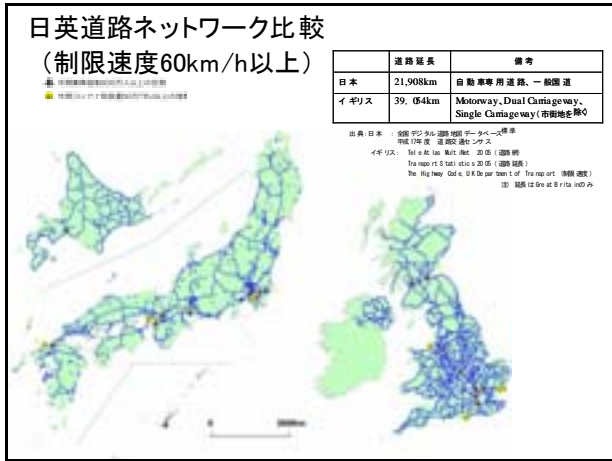


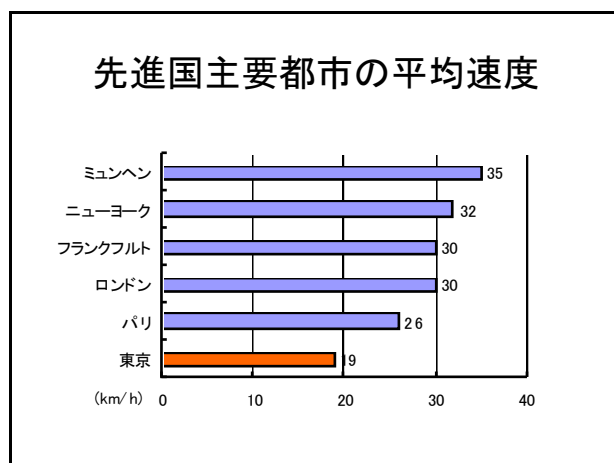
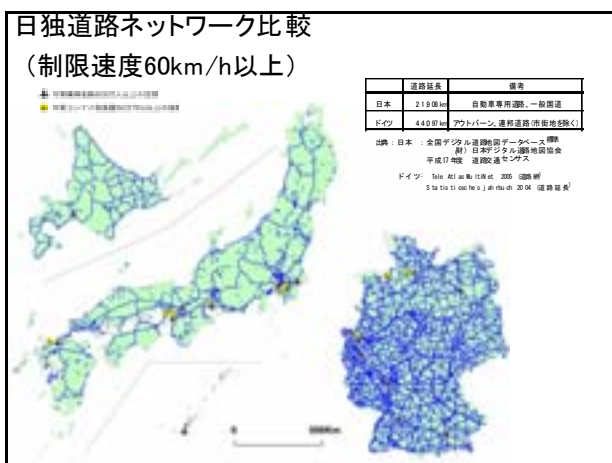
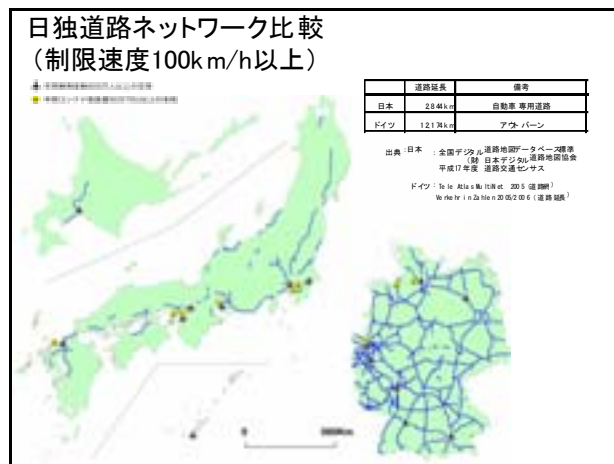
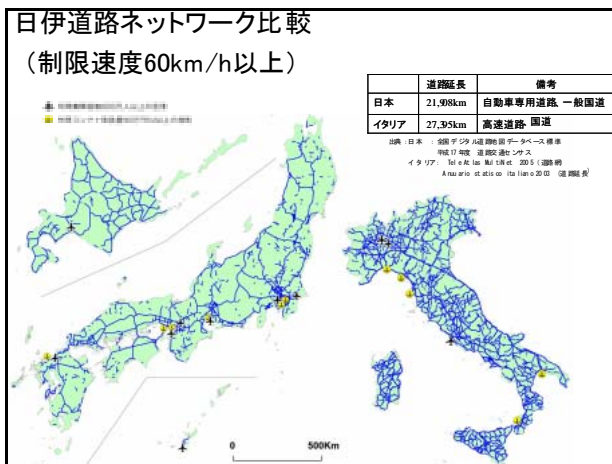
道路の“質”も、
 先進国中で、
最下位。

日英道路ネットワーク比較 (制限速度100km/h以上)

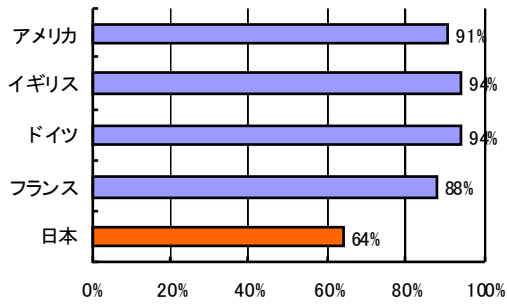
	道路延長	備考
日本	2,844km	自動車専用道路
イギリス	8,483km	Motorway, Dual Carriageway (市街地を除く)







実際の燃費平均／新車カタログ燃費



まとめ①

冷静に、客観的に考えてみると.....

日本の道路の整備水準は、

“量” (道路延長) の点からも、

“質” (車線数・速度) の点からも、

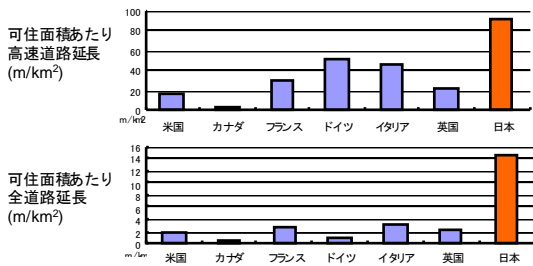
先進諸外国に比べて、極めて低い水準にある、

と言わざるを得ない。

しかし....

様々なメディアで国民に頻繁に紹介されているのは、以下の数字。

それ故、客観的な情報が、国民に伝えられていないのではないかという危惧が懸念される。

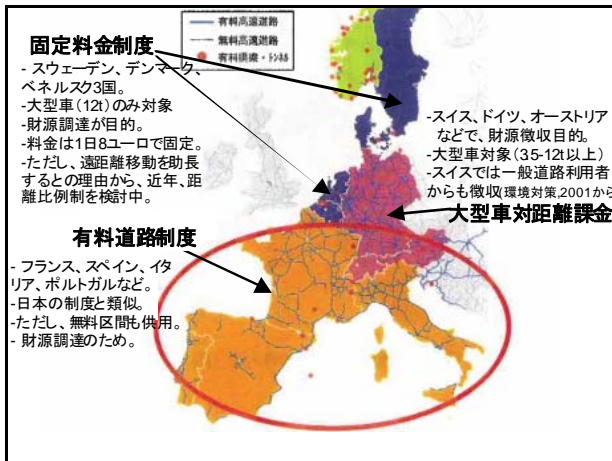


(五十嵐・小川「道路をどうするか」岩波新書2008年、p65の報告値をグラフ化)
(服部「道路整備事業の大罪」洋泉社2009年、のp171にも同趣旨の表あり)

高速道路の有料制度について

- 日本は今、「高速道路の無料化」が議論されている。
- しばしば、「アメリカは無料なのに。。。。」という比較の中で、世界の常識は無料化であるかの様に言われている。

....しかし、実態は？



最近の動き

- いくつかの国では、「外部不経済の内部化」(環境配慮)や「(公共)交通システム財源調達」等の理由から、「**全国課金**」が検討されている。
 - (※ 全国課金)
 - 乗用車も含めた全国の全道路ネットワーク者に課金
 - GPS、タコメータ等で課金することが検討されている。
- イギリス、オランダ、スウェーデン等で、スイスのスキームを参照・拡張する形で、検討中。
- アメリカでもオレゴン・シアトルなどで検討中

まとめ②

- 高速道路有料は、非常識では全くない。(むしろ常識的)
- 現在、欧米の先進諸国は、
 - 「有料化」
 - 「値上げ」
 - 「距離比例制化」
 の方向にある。
- なぜなら、クルマ利用の「**外部不経済**」(混雑、環境、事故など)が強く認識されるようになったから。
 - 日本の現在の議論と丁度逆方向になっている。

結論

先進諸外国との国際比較より...

- 日本の道路の整備水準は、**最低水準**。
- 諸外国で「環境への配慮」「(公共)交通システム改善のための財源確保」のために「有料化」「値上げ」等が検討されている中で、**例外的に**、日本でだけ「無料化」が議論されている。